

問題1

乳児期の早期から、子どもたちは保護と安全のために、敏感で反応の良い養育者との近接性を求める。養育者との早期の関係経験は、自分自身、世界、そして他者に対する一般的な期待へとつながる。こうした経験に基づいて、子どもたちは他者との重要な関係の内的作業モデルを発達させる。

問題2

⑤ あるいは ③

問題3

これまでの（メタ分析）研究によれば、不安定な愛着を形成している子どもは、問題の内化や外化といった精神病理のリスクが高いことが示されている。

問題4

主な養育者に対する子どもの愛着の性質を評価すること
愛着理論に実証的な基盤を提供すること

問題5

組織化されていない愛着を持った子どもたちは、養育者を慰めと恐怖の対象として両極端に認識している。すなわち、慰めを求める対象でありながらも、それと同時に恐怖の対象でもあるということであり、それはパラドキシカルではあるが解決することができないものだと言われている。

問題6

この解決策のない恐怖は、苦痛を受けた場合に愛着対象を使用するための組織的な方略の発達を妨げ、その結果、養育者に対する恐怖の反応と組み合わせられた、さまざまな種類の不安行動をもたらす。

問題7

重度の精神病理を抱える親の子どもたちや虐待を受けた子どもたち